

すぎなみ 大人“熟”してる？

すぎなみ大人塾新聞

総合コース
コトバ・ラボ
2

平成 30 年 7 月 13 日発行

発行元：社会教育センター（事務局）

第 2 回
6 月 29 日（金）
午後 7～9 時

「ニホンゴ」って何だ？

ゲスト講師：国立国語研究所 石黒 圭 さん

総合コース
受講生 42 名



国立国語研究所の石黒先生をゲストにお迎えして開催しました。

今回、石黒先生から知的好奇心をくすぐるお話をいただき、また皆さま同士や先生の熱気あふれるやりとりがあったことからか、たくさんの感想をいただきました。

事務局で感想を読ませていただいた結果、皆様それぞれにお話のどこに惹かれたのか、どんな新たな「？」や「関心」が生まれたのか、どんなお立場で受講されているのか、などなど、これからこのメンバーで共に学んでいくことへのワクワク感が生まれてきました。

そこで、今回の「すぎなみ大人熟してる？」新聞では、皆さまからいただいた感想を一挙大特集 4 ページ編集としてお届けしたいと思います。

なお、これでも一部事務局で編集・削除させていただいていますこと、ご了承いただければ幸いです。

皆さまからの感想より

- ・日本語も論理的言語である…しかし、自己中心的/エゴイスティックな見方をしやすい言語（ムラ社会の文化的背景か…）というのは、ふに落ちました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。初めて知ることがいろいろありました。言葉を覚えるのは学問ではないと思う。習慣で身につくものではないでしょうか。学問として考えると、殆どの人は「難しい」と言うでしょう。（赤ちゃんは、誰が教えなくても言葉を覚えます。）オブリゲーションを持たないことも、言葉をマスターする上で必要ですね。

- ・今日の「わたし」と「あなた」がゼロ表現になるというのは、目からウロコでした。いつものこと何げないことがどれだけわかっていないのかは新発見です。
- ・日本語は人称表現がない。しかしイタリア語はあえて人称を書かない、動詞変化で認識している。
- ・とても興味深い「課題」であった。表現の変化の歴史をとらえてまとめていただけたら有難い。
- ・特にゼロ代名詞に納得。(直接相手を指すのが失礼との考え方) 当方話しことばの通訳者(要約筆記者)ですが、通訳のルールにふれることや疑問点の解決につながりそうです。次回も期待しています。
- ・普段は意識していない日本語を改めて取り上げて考える、それもグループの皆さんと共に考えるという経験はとても楽しかったです。「人称表現をしない言語=日本語」は新鮮でした。
- ・大変興味深い内容でした。私は日本語を教える時、発音の部分では、長音、促音、撥音が難しいと考えていました。それらのよい教え方が伺えると良かったです。
- ・日本語も論理的に立派に表現できる言語だが、そうならないのは、言語教育の故かもしれない…との話しは白かった。⇒これからの言語教育はどうあるべきか?
- ・ふだん何気なく使っているニホンゴを客観的に説明していただいて大変面白かった。一人称、二人称はふだんから使わないからこそ表現が豊かというのが目からウロコ。
- ・ゼロ代名詞という考えが頭になかったのでおもしろかった。他の人の会話を違う視点で聞いてみたいと思った。日本語が易しい、難しいと分解して考えたことがなかったのが勉強になった。
- ・日本語をニホンゴ(外国人の目でみた日本語の難しさ)として捉えて考えたことがなかったため、大変興味深かった。
- ・とても楽しいお授業でした。人称表現、日常使っている表現が今は少なくなっているようですが、あなたを知らないことで工夫もしてみたいと思いました。
- ・日本語を教えているので、日本語の難しさに目が行きがちだったのですが、話し合いを通して易しい点もたくさんあることに気付きました。両面から見てより良い教え方ができるといいなと思いました。最後のまとめでは、やはり言葉は文化と深いつながりがあると感じました。
ありがとうございます。
- ・大変勉強になった。日本人でありながら、日本語の真の意味が分かってなかったことに自信をなくした。改めてしっかり今回学びたいと思った。
- ・「単語」への理解からさらに「文章」構成に関して知見を深めたい。そのきっかけにしたい。



- ・ゼロ代名詞は納得！！
- ・気がつかないで、使っていることが多いことに気がつきました。
 - ・人称、ゼロ代名詞について学ぶなかで、改めてヒトの考えやヒトとヒトの関係性がコトバとして現れてきていることが分かった。自分、相手の話すコトバを客観的に聞くことで、相手の立場や考えも分かるようになっていたと思った。今回もおもしろい内容で大満足でした。
 - ・改めて“ニホンゴ”の特徴について、考える機会をいただき、楽しい時間でした。古典が好きでしたので、一人称、二人称について考える際

まだまだ続きます！

改めてその時代からすでに主語がなかった（記載されていなかった）ことを思い出しました。

・日本語について身近な話題から問いかけがあったので、わかりやすかった。

- ・「外国人にとって幼児用語が難しい」問われれば確かにそう言える。「日本語は人称表現が言わないのが基本」その通りと気づかされただけで収穫であった。
- ・日本語について、2つのテーマの切り口で考えさせられた。特にあなたという単語を使わない/使われない理由がよく分かったので良かった。
- ・普段使っている日本語の奥深さを痛感した。ていねいに考えることで、気付きがあるという、そのとおりで思った。人との関係性の中で変化するニホンゴは使っている本人が気づかないうちに、相手との距離を表している。それってすごい！！ 深い！！
- ・「ゼロ代名詞」の存在を初めて知った。「目からウロコ」でなるほど…と感じた。新たな発見がある。毎回1つでも感じ取れる事を見つけていきたい。
- ・ゼロ代名詞の話がおもしろかった。日本語の人称表現について、言われてみると日常の生活ではあなたは使っていないことに気付きました。先生の話はとてもおもしろかったです。
- ・日本語というのをあらためて見てみると深くむずかしくおもしろいと思いました。
- ・知っているつもりだった日本語に新しい発見があってとてもおもしろかった。しかし日本語は何てあいまいな言葉なのだろうか。
- ・外国人の学習者から「ニホンゴ」を（学ぶ）みつめ直すという発想が新しく面白かったです。ゼロ代名詞と聞いて日本語は当事者性を失い易い言語なのではないかと考え（感じ）ました。ゼロ代名詞と民主主義を関連して日本の近代史を見つめてみたいです。おもしろい本があったら教えて下さい。
- ・とても楽しい講ぎでした。ありがとうございました。
- ・昨年少し聞いていたので、すんなり入ったが、意外と忘れていた部分が多く今日の受講を受けて、ますます学ぶことが多いと気づいた。
- ・ニホンゴというものを“客観的”に“自覚的”に見ることの楽しさを知りました。色々な角度でニホンゴを見ることは大切だと感じました。石黒先生の多くの外国人の方に教えられていた経験が感じられて良かったです。また石黒先生の授業を受けたいです。
- ・多角的にテーマを学ぶことができまして、これからの学びが楽しくなりました。
- ・「ニホンゴ」が難しいかどうか、と考えたことがなかったので、面白く感じました。石黒先生の“風土の豊かさ、四季”が関係しているというお話が心に残りました。一人称、二人称の表現についても多くのご意見を聞くことができ、興味深く参加させていただきました。“あなたは〇〇〇～”と言われて、頭にきたことがあったなあと思いだしました。また石黒先生の講義を受講したいなと思いました！！ありがとうございました。
- ・日本語を客観的に考えるよい機会になりました。アニメにうとい私は、キャラ立ての一人称の話があまりよくわかりませんでした。先生、腰痛お大事に。
- ・参加者の皆様の「言語」に対する意識の高さに敬服しました。とても勉強になります。次回以降も大変楽しみにしております。





石黒先生のお話はとても楽しく、わかり易く、また何かの機会にお話を伺いたいと思います。

・「ニホンゴ」母語としての「日本語」ではなく第二言語の「ニホンゴ」として考える事で色んな側面が見えた。例えが多く、分かり易い講義でした。

・楽しい授業でした。

- ・「ニホンゴ」についてあまり考えたことがなかったので、面白かったです。日本語は主観が強くなる言語だという話がありましたが、日本人は周りを大事にして「空気を読む」から、逆に自分視点のコトが増えるのかなあと思いました。
- ・普段使っているニホンゴを客観的にとらえる良い機会となった。またニホンゴが日本の文化とひもづいていることが感じられた。一人称と二人称について「ゼロ代名詞」という話は、感覚的には思っていたが、客観的に説明を受けて腹落ちするところがあった。
- ・日本語の人称表現の種類が多く、使い分けるのは相手との関係や距離に sensitive な文化からきているからだと思われます。言語には風土・文化に依存するというお話もありましたしその通りだと思います。（日本語は語彙が多いというお話があり、そうだと思いますが、英語では馬の走り方にたくさんの単語があったり、羊・牛を表現する単語を多く使い分けるといった例もあります）その他、幼児語は英語でもあります。また、「発音をその人の社会的評価に結び付けがち」というのは海外でも同様と感じます。

以上



たくさんの感想をお寄せいただき、ありがとうございました。皆さま時間が少ない中で、たくさんの感想を書いてくださることが、事務局としてもとても励みになっています。また、こちらの感想は、それぞれの担当してくださった講師の先生にもお送りして、皆さまのお声を届けております。これからも、感想を書いていただけると嬉しく思います。